

自然学習講座

テーマ:水元公園の魚を観察しよう

日 時:令和5年5月21日(日) 13時から15時まで(雨天決行)

講 師:君塚 芳輝(淡水魚類研究者)

参加費:無料 定員:30人(対象:小学生以上)

申込開始:令和5年4月26日(水)

集 合:水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム

受 付:令和5年4月29日(土)まで電話で受付し、応募者より抽選。

※野外での観察もありますので、動きやすく、濡れてもよい服装と靴でお越しください。

※小学3年生以下の子様は、保護者同伴をお願いします。



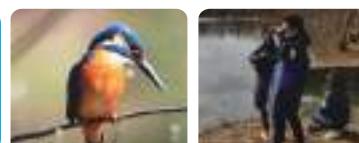
水元公園で魚を採取して観察し、環境と生きものの繋がりを学びます。モソゴ

イベント・ガイドウォーク

カワセミー斎調査

令和5年5月6日(土) 説明会 10:00~12:00

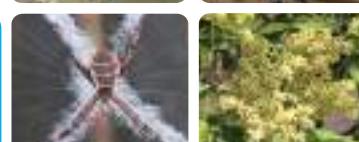
令和5年5月7日(日) 調査日 9:00~12:30



ガイドウォーク

1回目 11時から30分間
2回目 13時30分から30分間

専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。
ボランティア活動日には、ボランティアさんが野草園を案内します。



水元かわせみの里とは (水元小合溜水質浄化センター)

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和30年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通じて、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



■ 開館時間・・・9時から17時30分(4月から10月)、9時から16時30分(11月から3月)

■ 休館日・・・月曜(祝日の場合は、その直後の平日)

■ お問い合わせ・・・水元かわせみの里 03(3627)5201 東京都葛飾区水元公園8番3号

■ 交通 京成バス
水元公園循環バス(3月から11月の土日祝のみ)
金町駅南口→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口
(金61系統)
金町駅南口→水元公園→金町駅南口
水元かわせみの里下車 徒歩1分
水元五丁目 または 大場川下車 徒歩5分

※お車でお越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。



葛飾区公式HP



ブログ



Facebook



Twitter

水元かわせみの里

水辺のふれあいルーム通信

令和5年 4月20日
(通算第193号)



水元小合溜の生きもの: 183

ナナホシテントウとソラマメヒゲナガアブラムシ

コウチュウ目 テントウムシ科

体長 6~8.3mm

時期 3~11月



アブラムシを食べる

成虫は2ヵ月ほど生き、
その間何度も産卵します。

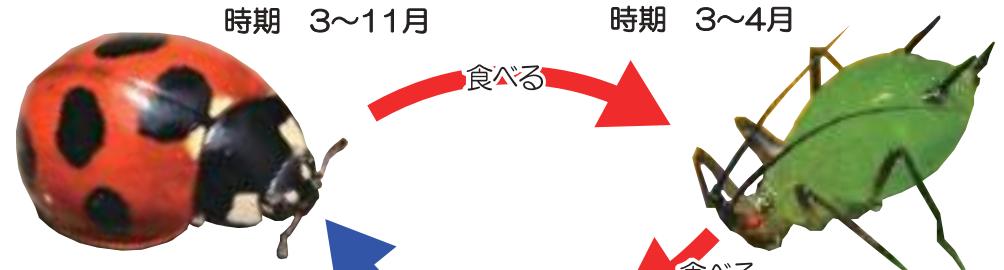
幼虫、成虫共にアブラムシを食べて生活し、成虫

1匹につき100匹のアブラムシを食べると言われるた

め、アブラムシに汁を吸わ

れる植物にとって、アブラムシを食べるテントウムシ

はとても有難い存在です。



植物の汁を吸う

植物の汁を吸って生活するアブラムシは、メスのみで増えることができ、一週間ほどで成虫となるため、すぐに大量発生して植物を弱らせることがあります。天敵は数多くいますが、そのすさまじい繁殖能力で食べつくされることなく暮らしっています。



発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、
お散歩隊が見つけて紹介します！



4/2 ドウダンツツジ ぶら下がっている5枚の花びらが、筒状にまとまって鈴のような形になっている。



4/6 ユリカモメ まだ冬羽の個体(左)が多くたが、繁殖に備えて夏羽へと冠羽した個体(右)も見られた。



4/6 ドバト 繁殖期を迎えて、オスが首を膨らませて、つがいになろうと必死にメスにアピールする姿が見られた。



4/6 ヒドリガモ 園路脇の草地に上陸して草をついぱんでいた。春以降は渡りのため、シベリアなどに旅立つ。



4/8 シロツメクサ 『クローバー』と呼ばれ、水元公園内に幅広く見られる。一本一本の細い花が集合し、丸状に咲く。



4/9 コガネグモ(幼体) 網の真ん中にX状の白帯をつけ、そこに隠れるようにして獲物を待ち構えていた。



4/12 カワウ 水元かわせみの里の目の前のとまり木にとまり、羽繕いやあくびをしながら、1時間ほど休憩していた。



4/13 力の一一種(幼虫) 『ボウフラ』と呼ばれる。野草園の池で大量に見られた。写真は顕微鏡で拡大したもの。



4/16 ヤハズエンドウ 水元公園の至る所で見られる。アブラムシやアリ、テントウムシの仲間など、様々な昆虫が集まる。

2 ● 写真を撮った場所を地図上に示していますが、他の場所でも見られます。皆さんもぜひ見つけてみましょう。

専門員コラム 「アリを呼ぶ植物たち」

春を迎えた水元公園では、様々な草花が生い茂り、今や水元公園内の至るところにヤハズエンドウ(9)が見られます。ヤハズエンドウの葉は『羽状複葉』と言い、鳥の羽のように生えた葉っぱ全てが一枚の葉っぱとなっています。そしてその付け根には『托葉』と言う、茎を覆うように小さな葉片が付いています(右下写真)。

この托葉を見てみると、何やら黒丸のシミのようなものがあり、アリが数匹群がっているところが見られます。これは『花外蜜腺(かがいみつせん)』と言う蜜が染み出る器官で、一説では、アリがこの蜜腺を舐めに何度も訪れることで、他の昆虫による葉などの食害を防ぐ効果があると考えられています。この蜜腺はアカメガシワの葉やイタドリの茎など、他の植物にも多々見受けられます。

花の蜜以外にも、植物たちは昆虫たちの力を借りようと、様々な手段を講じているようです。多くの昆虫が見られるこの時期、植物との関わりを観察してみるのも面白いですよ。(小林)



水元小合溜
都立水元公園
周辺マップ



ボランティア活動報告

キッズボランティア活動で、一年間のふりかえり発表会！

3月26日に、キッズボランティア活動で「一年間のふりかえり発表会」を行いました。昨年5月～今年3月までの活動をふりかえり、それが印象に残った活動や、そこで学んだこと、頑張ったこと、成長したことなどについて、メンバー全員と保護者の皆様の前で発表しました。



はじめに専門員の案内で、一年間の活動をスライドでふりかえりました。



キッズのこれからに向けて、専門員から激励のコメントも送りました。



キッズは発表に使う写真も自分で考え、活動の様子を伝えてくれました。



楽しかったこと、悔しかったことなど、様々な想いを伝えてくれました！

ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方々が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目指します。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加していただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

■活動内容 水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業
ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講
葛飾区子どもまつり、環境・緑化フェアなどへの参加

■募集期間 随時募集しています

■対象 18歳以上の方(原則)

■活動日 月4回程度(定例活動日 第1、3土曜日、第2、4木曜日)

■申し込み・お問い合わせ 水元かわせみの里 03(3627)5201

学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

総合的な学習の時間



植物の葉っぱと種の観察

職場体験受け入れ



中学生職場体験

自由研究の補助



虫とりキットを作ろう

水辺の生きものの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

その他、主な団体利用の内容

- ・生物関係のクラブ活動の補助
- ・大学、専門学校の実習の受け入れ
- ・福祉系団体への自然解説
- ・歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。

※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里 03-3627-5201)まで。

野草園だより 見頃の生きもの 4月編

水元かわせみの里の裏手にある小さなビオトープ「野草園」。

様々な生きものが暮らすこのビオトープで見られる、ステキな生きものをご紹介します。

4月の見頃

コバノタツナミ

花の姿が波立つように咲く『立浪草(たつなみそう)』の一種です。葉に短い毛が密生し、触るとピロード状の感触がすることから『ピロードタツナミ』とも呼ばれます。

花は基本的に薄紫色ですが、中には白いものもあり、野草園では一様に白い花が咲きます。



野草園マップ



見られる
ポイントは
ココ！